

講義名	発育発達論			授業形態	
担当教員	北村 裕美	開講期・曜日・時間	前期 月曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

本講義では、ヒトの誕生から成長、成熟、老化といった各過程における身体的、心理的、社会的特徴について学習します。特に、発育期における運動遊びの重要性やスポーツ外傷・障害予防の考え方について、最近の知見を紹介しながら概説します。

到達目標

発育、発達、加齢に伴う身体変化について、説明できるようになる。
現代の子どもの健康課題について、説明できるようになる。

提出課題

Microsoft Formsによるコメントシート、あるいは小テスト（毎回）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

Formsの設定により、各自にフィードバックされます。

評価の基準

前半テスト・・・50%
後半テスト・・・50%
*前半/後半テストは第8回/15回授業時に各60分間、マークシート方式で実施します。
*授業実施時間数の3分の1以上（5回以上）欠席した者は出席不足となります。
*クラブ活動や就職活動による欠席は考慮しません。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は、「健康運動実践指導者」受験資格取得に必要な科目です。

教科書

.使用しない。

参考図書

.大人が知らない子どもの体の不思議.	神原 洋一	講談社	879	4062576163
.子どもの保健と安全演習ブック.	小林 玄他	ミネルヴァ書房	2750	462308910X

その他

* 資料は、適宜配布します。
* 授業に関する情報はキャンパスクロスにて行います。

授業計画

1. イントロダクション、発育・発達とは
予習内容：自分の子どもの頃の体験を整理したり、子どもに関する時事ニュースに収集したりする（2時間）
復習内容：授業内容を振り返り、理解を深める（2時間）
2. 乳児期の発育
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
3. 幼児期の発育
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
4. 乳幼児期の発達 神経系、呼吸循環器系
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
5. 乳幼児期の発達 運動機能
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
6. 基本的な生活習慣の獲得
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
7. 学齢期の発育発達
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
8. 前半テスト
予習内容：前半テストに向けて、学習した内容を振り返り、対策する（3時間）
復習内容：前半テストの結果を振り返り、理解を深める（1時間）
9. 子どもの健康
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
10. 子どもの安全 不慮の事故
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
11. 子どもの安全 応急処置
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
12. 思春期の発育発達
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
13. 青年期の発育発達
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
14. 壮年期の加齢変化
予習内容：学習内容を確認し、関連するニュースを収集する（2時間）
復習内容：授業内容や確認テストを振り返り、理解を深める（2時間）
15. まとめ（テスト）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、健康分野に関する基礎知識の習得を到達目標としており、ディプロマポリシーに貢献する科目です。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業では、Microsoft Formsで行った小テストの中で正答率の低い設問について解説します。

実務経験の有無及び活用

特になし。

備考

特になし。